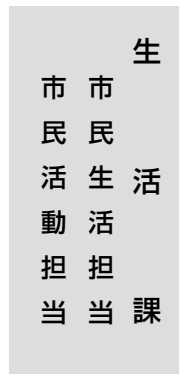


4月1日から市役所の組織が変わりました

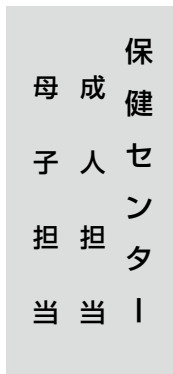
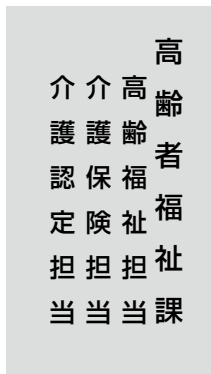
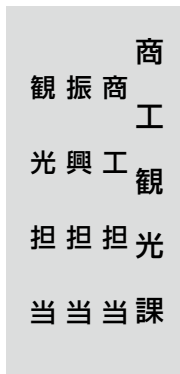
第5次総合振興計画および市長マニフェストの着実な推進と重要な課題に迅速に対応し、適切に解決するため、市役所の組織を一部変更しました。

変更前

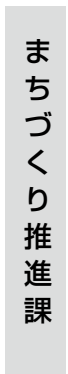
▼課および担当の変更



▼担当の変更・新設



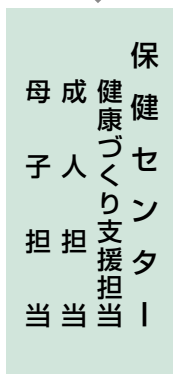
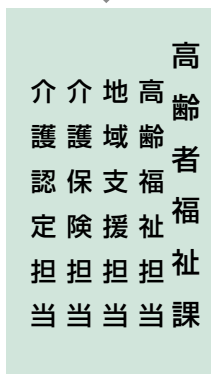
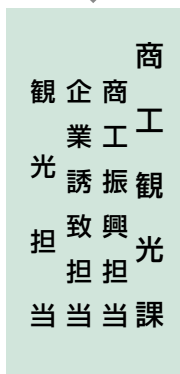
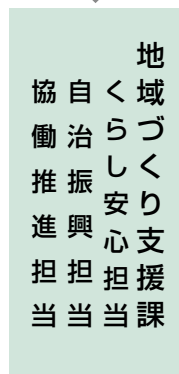
▼課名の変更



▼問い合わせ

企画政策課政策担当（内線311）

変更後



「市長のさわやか訪問」で多くの皆さんの声を聞きました

「市長のさわやか訪問」は、市民の目線に立った市政を推進することを目的とした広聴活動で、市長自らが企業や各種団体などに出向き、皆さんの生の声をお聞きするものです。

平成23年度は、企業・福祉施設・クラブなど全5カ所訪問し、それぞれの分野の最前線で活躍している皆さんと意見交換を行いました。

皆さんからいただいた意見や提言は、今後の市政運営に生かしていきます。

訪問日	訪問先
平成23年4月14日	しゃかりき堂仏像彫刻教室かんのん塾
平成23年6月2日	ニッコー(株)埼玉工場
平成23年8月2日	コスモプリンツ(株)
平成23年8月11日	(社)児童養護施設ケヤキホーム
平成23年10月21日	(株)風憩セココ

▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当（内線318）

日曜開庁を休みます

市庁舎の耐震補強工事に伴い、次のとおり日曜開庁を休みます。

▶閉庁日 4月29日(日)、5月6日(日)

▶問い合わせ 財政課管財担当(内線327)

放射線量の測定を行っています

市内における放射線量の状況を把握、監視するために放射線量の測定を定期的に行っています。測定値については、「市報ぎょうだ」や市ホームページ、地域公民館(土・日曜日、祝日を除く)で公表しています。

放射線測定値(参考値)

・測定箇所 行田消防署本署地内 ・測定高 1メートル

測定日	測定時間	天候	測定値 (マイクロヘルム)
3月19日(月)	午前9時	晴れ	0.08
	午後3時	晴れ	0.08

▶問い合わせ 同課防災担当（内線282）

放射線量低減の方法を紹介します

放射線量測定器の貸し出しを受けた市民の皆さんや、市がこれまでに測定した大気中の放射線量は、日常生活において健康に支障のないレベルです。

しかし、雨どいの排出口などは放射性物質が蓄積されやすく、周辺よりも放射線量の比較的高い場所(毎時1マイクロシーベルト以上)がこれまでに数箇所確認されています。こうした場所はいずれも局所的なもので、離れた地点では影響はありませんが、清掃などを行うことで放射線量を低減させることができます。

ここでは、比較的高い放射線量が測定された場合の対応策を紹介します。

Q. 周辺よりも高い放射線量となりやすい場所は？

A. 降雨により洗い流された放射性物質が集中して集まる場所です。

(例) 雨どいの排出口、集水ます、吹きだまりなど



雨どいの排出口



吹きだまり

Q. 放射線量を低減させる作業の手順を教えてください

A. (手順1) 準備

【服装】なるべく肌を出さない服装。

※マスク、手袋を着用すると安心です。



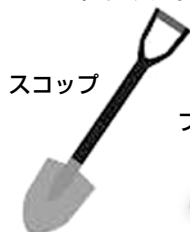
マスク



手袋

【必要なもの】

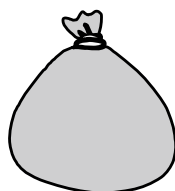
スコップ、ブラシなどの清掃用具、土のう袋など



スコップ



ブラシ



土のう袋

(手順2) 作業

※小さなお子さんとの作業はやめましょう。

地表面の処理



表土を削り取ります。放射性物質は地表にたまる性質があるため、5センチメートル程度削れば効果があります。

削り取った部分はきれいな土砂で覆ってください。

コンクリートなどの処理



水を掛けながら台所用洗剤などによりブラシで洗い流します。

(手順3) 削り取った土の処理

除去した土を土のう袋などに入れ、普段、人が立ち入らない庭の隅などに穴を掘って埋めてください。埋めた場所をきれいな土砂で覆うとより安心です。

※作業により除去した土砂などは、市で引き取ることはできません。国や県の指針に基づき、自分の敷地内で処理をお願いします。



(手順4) 作業終了後は必ず手洗いやうがいをしてください。

放射線量への対応は、市民の皆さんの理解と協力が必要です。市では、身近な生活環境の放射線量を知っていただくため、放射線量測定器の貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。

▶お問い合わせ 防災安全課防災担当 (内線 282)